

平成 17 年度 農業土木学会 資源循環研究部会 研究発表会の開催報告

第 6 回農林水産環境展（EFAFF2005）併催催事「第 6 回農林水産環境シンポジウム」（会場：日本コンベンションセンター国際会議場）の一環として、平成 17 年 12 月 2 日（金）に、（社）地域資源循環技術センターが事務局を務める（社）農業土木学会 資源循環研究部会の平成 17 年度研究発表会が開催されました。

この発表会は、農業農村を中心とする水やバイオマス等有機資源の利活用・循環にかかる技術の発展及び部会員間の学術交流に寄与することを目的として、平成 15 年 5 月設立された同研究部会が主催する第 3 回目の研究発表会です。冒頭あいさつで高橋部会長は、二酸化炭素の排出削減問題に言及しつつ、資源循環の重要性について述べました。また、水準の高い発表が集まったことを評価するとともに、資源循環に関する多様な研究成果による資源循環型社会の実現の重要性と本部会の一層の発展についての期待を述べました。

部会長あいさつに続いて、8 編の研究発表が行なわれました。

一般発表を終えた後、全発表課題の中から最優秀の一編を研究部会幹事が選考し、資源循環研究部会長賞が授与されました。

本年度の部会長賞は「メタン発酵消化液を対象とする窒素・リン制御技術のコスト比較」（山下茂樹、柚山義人、市原昭、安村宜之、森川則三、藤井正博）が受賞することとなり、研究部会長から賞状と副賞が手渡されました。



研究部会会長挨拶

（京都大学大学院農学研究科長 高橋 強）



表彰